| 授業科目名・形態 | ソーシャルワーク演習Ⅳ　演習 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 石岡和志　藤田博章　平林朋子　松本和剛 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ３年前期 |
| 科目ナンバリング | W5-3004s | | | | |

**【授業の主題】**

地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。ミクロ・メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程､実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。

**【到達目標】**

1）地域社会におけるソーシャルワーカーの機能と役割について説明できる。
2）地域ニーズの把握の方法と実際について理解する。
3）地域活動計画書を策定する過程を通して、計画の目的や意義を明らかにし、地域福祉の展開方法を説明できる。

**【授業計画・内容】**

第 1 回　オリエンテーション（地域福祉を推進する機関・組織）
第 2 回　地域福祉計画の策定に関する相談援助演習
第 3 回　地域におけるサービス提供に関する相談援助演習
第 4 回　地域におけるネットワーキングに関する相談援助演習
第 5 回　地域における権利擁護活動に関する相談援助演習
第 6 回　地域ニーズの把握の方法（調査方法等および社会資源の把握、活用、調整、開発）
第 7 回　地域ニーズの把握の実際（住民参加と組織化活動）
第 8 回　ソーシャルアクションに関する相談援助演習
第 9 回　アウトリーチに関する相談援助演習
第 10 回　フィールド・リサーチ
第 11 回　調査概要書の作成（リサーチ結果のまとめ）
第 12 回　地域活動計画書の作成
第 13 回　地域活動計画書の作成
第 14 回　発表会
第 15 回　発表会、振り返り

**【授業実施方法】**

基本的には演習形式とする。本演習はプロジェクターを用いた視聴覚プレゼンテーション、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を行う参加型授業形態で実施する。

**【事前・事後学習】**

毎回、テキストを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。

**【主な関連する科目】**

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

**【教科書等】**

最新 社会福祉士養成講座 7　ソーシャルワーク演習（社会専門）中央法規出版 2021 年版

**【参考文献】**

授業中にその都度紹介する。

**【成績評価方法】**

授業態度 10%、提出物 60%、事例発表等 30%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

福祉施設で生活相談員として相談業務を経験してきた。相談援助の経験を活かし、その人らしい生活ができるように必要な福祉サービスのあり方を伝えたい。

**【学生へのメッセージ】**

本演習は参加型授業形式です。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、事前に指示された課題への取り組み等、積極的に参加してほしい。